

平成26年7月 編集発行 浅井湯田地域づくり協議会 連絡先 湯田公民館 TEL74-1438・FAX74-1427

平成二十六年 通常総会開催!!

去る四月二十日、湯田公民館において、浅井湯田地域づくり協議会通常総会が開催されました。

開会に先立ち、長浜市地域包括支援課により「認知症になっても暮らしやすい地域づくり」のテーマでお話をしていただきました。

総会では、新役員の紹介があり、西橋義仁会長が議長を務め、平成二十五年度の事業・会計報告、二十六年年度の事業計画・予算がそれぞれ承認されました。質疑応答の後、佐野信行新会長が挨拶されて全体会は終了。その後各部分会に分かれて今後の活動の計画など話し合い散会となりました。

会長挨拶

佐野信行

この度、本年度の湯田学区連合自治会長ならびに浅井湯田地域づくり協議会会長をお引き受けさせていただきましたことになりました。区民の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、務めてまいります。



写真は平成26年度通常総会の様子、議長は西橋氏

たいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
さて、この協議会は平成二十一年に設立され、本年度で六年目になります。そこで、なぜ今「地域づくり」の必要性が問われているのでしょうか。それには、
① 多岐にわたる行政需要の高まりのなか、行政運営の肥大化・複雑化
② 住民の行政依存意識の高まりや地域コミュニティの薄

れからくる住民自治の衰退
③ 超高齢社会において地域を支えるべき若年世代が減少
④ 合併により市域が広域化し、それぞれの地域課題に対して、これまでの均一な行政施策の方法では対応しがたくなってきた。
ことなどがあると思われまます。
震災以降、防災の面で「公助」「共助」「自助」の言葉をよく耳にしますが、これからは「公助」ではなく「自分たちでこの地域の何をどうするか」であり、地域でできることは、住民が互いに協力し合って住みよい地域を築き上げていく、つまり「共助」「自助」の住民意識がますます必要になってきます。よく「まちづくりは人づくり」と言います。地域は人々の集合体です。人が動かなければ地域は動きません。福良の森の朝夕(湯田小学校校歌)に暮らす私たち、本協議会の活動に一人でも多くの人に参加していただきたく、あなたの一歩をお待ち申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

新役員の紹介

浅井湯田地域づくり協議会

会長 佐野 信行
評議委員長 清水 利展

総務広報部長 新井かおり

総務広報副部長 筑紫 弘

健康福祉部会長 田辺 政文

健康福祉部会長 廣幡 光男

健康福祉部副部長 出口 末徳

清水 幸子

吉川美和子

安全環境部長 (評議委員長兼任)

安全環境副部長 奥出 隆夫

久保田雅人

教育文化体育部長 伊吹 正弘

教育文化体育副部長 川添 義男

本庄ひろ子

地域振興部長 近藤 秀之

地域振興副部長 中川 仁男

片桐 達夫

事務局 清水やす子

(市事務支援職員)

今年の活動計画

通常総会で承認された今年度の活動計画を企画中のものもありますが掲載しました。

浅井湯田地域づくり協議会の活動も6年目を迎え、少々マンネリ化の傾向が見られます。本欄の各部会の活動やイベントをご覧になって、これなら一緒に活動できると思われる活動ひとつだけでもよろしいのでご参加いただき、ご支援ください。区民の皆様のご協力なしでは当協議会の活動はできません。よろしくお願い致します。

(運営委員会一同)

浅井湯田区民祭り

会場 ふくらの森広場
(プラザふくら裏駐車場)
開催日 11月23日(日)
予備日 11月24日(月・休)

中華料理教室

講師 ちやいなふくふく広幡康
行様
品目 餃子 炒飯
日時 7月21日(月) 午前9時
～



ふくらの森 整備作業

毎月第3日曜日 午前9時～11時半
場所 ふくらの森
持ち物 軍手、カマ、のこぎり、草刈り機等
竹の伐採、植栽地のゴミ拾い、下草刈りなどの軽作業
当該時期には、キノコの菌打ちやドングリの苗作りと植えつけ、カブトムシの育成もしています

第7回 通学合宿

日時 平成26年9月24日(水)～27日(土)
場所 湯田公民館
対象 湯田学区の小学4年生から中学3年生
定員 30名程度
申し込み 夏休み明けに募集します。
親元を離れて自分たちで自炊したり、「坐禅体験」や「もらい風呂」など新企画で3泊4日合宿生活をします。

安全環境部会

- ・通学交通安全指導
- ・安全パトロールの実施
- ・湯田学区一斉クリーン作戦の実施

総合型地域

スポーツクラブ

の設立に向けて準備に入ります。
スポーツを通じて区民の健康増進、交流を図ります。皆様

健康講座の開催

各自治会サロンとの交流を兼ねて、行政の出前講座に申し込み、今後の高齢者のお役に立てるように進めていき交流を図る。申し込みは講座開催より2ヶ月前に行う。
参考 サロン活動を行っている自治会は現在6町ですが、内保町は今年から新たに開始されま

すみよい 魅力ある町づくりのために

浅井湯田地域づくり協議会総務広報部

各町アンケート結果報告

政府は経済財政運営の基本方針「骨太の方針」で、今年初めて人口減少問題に言及。その中で、1人の女性が一生に産む子供の数に相当する合計特殊出生率が2012年は1.41人で、人工維持に必要な2.07人を大幅に下回る。2040年には、全国1800市区町村の半分が「消滅する」可能性があるとの推計をまとめています。

湯田学区でも、国と同じく幾多の課題を抱えているのでは?という思いから、6月5日に各町自治会長さんにアンケートをお願いしました。その一部を紹介いたします。(回収は17町中15町)

アンケートの分析

1、現在、当協議会で共に活動しているのは16町です。旧町と新興の団地では、例えば若年人口数、老人会、婦人会の存在などの相対的な違いはあるが、それぞれの町の課題を抱えつつ特徴を生かした町内活動が展開されている。

2、50戸未満の旧町では、少子化の影響で子供会が組織できないなどの問題を抱えて、老人会との連携も視野に、町民の知恵と工夫をこらした伝統的な行事を継続しようとする努力が見られる。

3、新興団地では親も若く、子ども数も多く、ユニークな町内行事が実施されているところが多い。一部高齢化が進んでいる団地では、近接する団地間の絆とつながりを大事にする活動も見受けられる。

4、中規模以上の旧町では空家の問題や高齢化の問題、世代間のつながりの希薄化などの課題を抱えてはいるが、それを乗り越えて、サロン、ぼちぼち広場、食事会など新たな活動の展開が見受けられる。

アンケート分析については中間的なものですが、当地域づくり協議会としては「住みよく、活力ある学区の姿」を次代に残すために、具体的に何をなすべきか、学区民の皆様の声をじかに聞いて、考え、取り組んでいきます。学区民の皆様にも、これらの課題を自身の問題と捉え直す機会にしたいだけ、積極的な「まちづくり」活動へご参加をいただければ幸いです。

《アンケートから》

① 世帯数

50戸未満	51～100戸	101～150戸	151戸～
7町	2町	4町	2町

② 人口

100人未満	101～200人	201～300人	301～400人	401～500人	501～600人	1000人以上
2町	5町	2町	1町	2町	2町	1町

③ 小学生数

⑥老人なし…	10人未満	10～50人	51人以上	会 4町
	6町	5町	4町	

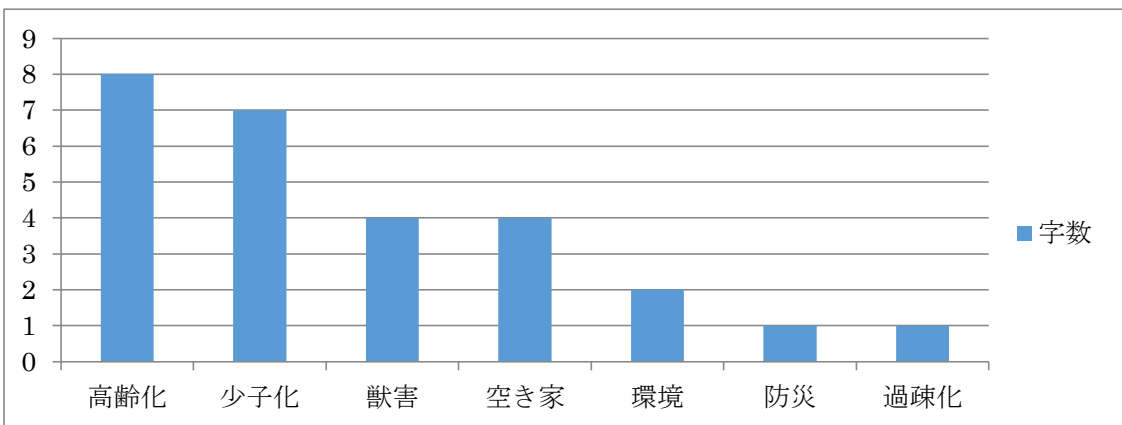
老人会会員数1027人 / 全世帯数1537戸

⑦ 婦人会

なし…6町

婦人会会員数327人 / 全世帯数1537戸

⑧ 自治会における課題 (複数回答)



地域づくり協議会主催イベント

学区民グラウンドゴルフ大会が行われる

6月15日(日)、梅雨空を吹き飛ばすような晴天の中、西主計草野川河川敷のグラウンドゴルフ場で当地域づくり協議会教文体部会が主催する湯田学区民グラウンドゴルフ大会が開催されました。

昨年度は100名を超す区民の参加がありましたが、今年は地元血原公園のゴルフ場を管理されて、日ごろ腕を磨いておられる三田町の皆さんが、公園内の多目的広場の大掃除や姉川合戦戦死者慰

霊祭などの諸行事と重なったために90名を切る参加者となりました。

以前はゲートボール全盛の時代で、各町の元気なお年寄りグループを中心に練習場まで作って練習され、あざい文化スポーツ公園内の屋内ゲートボール場で競技されていました。しかしグラウンドゴルフが幅広い年代層を集めることで人気となり、7年前から本大会に切り替わりました。



開会式であいさつする佐野信行協議会会長



「うまく入ってくれ！」競技中の大路町の中年チーム

あざい認定こども園に

カブトムシの幼虫を贈る



5月28日に、ふくらの森の再生活動を進める地域振興部長の近藤秀之さんから関係者三名があざい認定こども園の5歳児たちにカブトムシの幼虫70匹あまりをプレゼントしました。ここ数年、ふくらの森の環境が大きく変わり、子ども達にこの素晴らしい自然環境に関心を持ってもらうことがねらいです。近藤さんから、「ふくらの森にはカブトムシが育つどんぐりの木がたくさんあるよ」と説明を聞いた園児たちは、腐葉土の中で大きく育った幼虫をみて最初はおっかなびっくり。しかし最後には手で持って「かわいいね」とはしゃいでいました。また、コンテナの腐葉土の上に並べられた幼虫が間もなく動きだし、中にどんどん潜っていき力強い姿に歓声をあげていました。7月上旬には成虫となって出てきます。

参加者の最高齢者は内保町の土田美穂子さん(88)で、8年前に車の免許を返上した頃から友人に誘われて自転車でグラウンドゴルフ場に出かけ練習されてきました。若いころから折り紙など手先を動かすことが好きで、今でも古い布の端切れで簡単な衣類や袋物を作るなど裁縫も得意という事です。この日仲間たちと元気にプレイしていました。

今年の見どころとしては、各町単位

参加者の最高齢者は内保町の土田美穂子さん(88)で、8年前に車の免許を返上した頃から友人に誘われて自転車でグラウンドゴルフ場に出かけ練習されてきました。若いころから折り紙など手先を動かすことが好きで、今でも古い布の端切れで簡単な衣類や袋物を作るなど裁縫も得意という事です。この日仲間たちと元気にプレイしていました。

成績優秀者は次の皆さんです。

- | | | |
|----|------------|------|
| 一位 | 遠藤真佐枝 (65) | 尊野町 |
| 二位 | 草野盛太郎 (76) | 新三田町 |
| 三位 | 西川 裕治 (74) | 尊野町 |
| 四位 | 水谷 邦夫 (81) | 西野町 |
| 四位 | 井上 省三 (78) | 尊勝寺町 |
| 四位 | 田和賢太郎 (69) | 中瀬町 |